

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(秋田県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①					成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②					成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考			
				計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)				達成率	計画時(平成22年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)					目標値(平成25年)	達成率	交付金	都道府県費					市町村費	その他	
横手市	秋田ふるさと農業協同組合	土地利用型作物(新規需要米)	新規需要米の10a当たり労働時間を35.1%削減	20.5時間		13.5時間	12.7時間	13.3時間	108.3%	丸ピン増設により刈取等秋作業が集約されたため、刈取時間の削減などにより、10a当たり労働時間を目標35.1%に対し38%削減できた。	土地利用型作物(新規需要米)	新規需要米の60kg当たりの物材費を21.6%削減	7,526円		7,075円	6,947円	5,898円	35.6%	計画時から7,579円、7.7%の削減となったが、育苗時の一発施肥剤の施肥処理技術がきちんと確立され、春作業でも削減を目標としており、継続して指導する。		乾燥調製施設(貯留乾燥設備増設) 丸ピン250t送風機1基	74,355,750	26,673,000		8,734,000	38,948,750	H24.1.31	新規需要米の10a当たり労働時間は、施設導入を機に刈取等秋作業を農事組合法人に集約した結果、目標を達成できた。今後は、プール育苗技術を確立することにより、春作業でも削減を目標としており、継続して指導する。	労働時間の削減については、刈取等の集約がなされたことから、秋作業の労働時間が短縮され、目標が達成されている。今後は、プール育苗技術を確立することにより、春作業でも削減を図ることとしており、継続して指導する。		
横手市	秋田ふるさと農業協同組合	土地利用型作物(稲)	事業実施地区における下位等級指数の削減について、事業実施年度の前7中5平均下位等級指数を4.2ポイント削減	8.2%			6.1%	4.0%	50.0%	(7中5平均、H16~22)	土地利用型作物(稲)	重金属等の有害物質の低減に取り組む面積割合を25.1ポイント増加	47.4%			74.7%	72.5%	108.8%	湛水管理の周知徹底、営農指導員や水管理巡視員のほ場巡回等による指導を徹底したしたことにより、面積割合は27.3ポイント増加した。		穀類乾燥調製貯蔵施設 処理量: 3,000t	820,470,000	367,500,000	0	0	452,970,000	H25.5.20	下位等級指数については、事業実施前より改善されているが、昨年はカメムシ多発警報が発令されるほどカメムシが多発したこともあり、防除の徹底を指導したが目標達成できなかった。今後は、市等で作成したカメムシ防除対策パンフレットを農家全戸配布し、原因となるカメムシ防除の徹底により目標達成を図りたい。	下位等級指数の削減については、改善傾向にあるものの、昨年はカメムシ多発警報が発令されるほどカメムシが多発した結果、目標達成できなかった。今後は引き続き、カメムシ防除を徹底させ、目標達成できるよう指導する。		